

ICICIC2012に参加して

情報工学府情報科学専攻 宮西 康平



国際会議について

11月4日から6日にかけて、中国上海にて開催されたICICIC2012 (International Conference on Innovative Computing, Information and Control)に参加しました。日本を4日に出発し、6日に発表を行いました。発表時間は15分のうち5分が質疑応答という形式でした。

研究概要

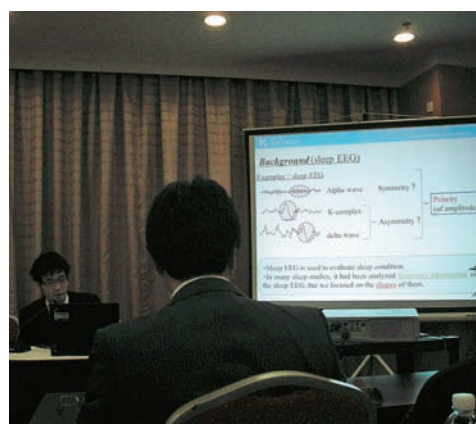
私は、人の睡眠時の生体信号から情報を抽出し、睡眠の状態の評価や、分類を行う研究を行っています。睡眠のメカニズムに関しては未解明な部分も多く、多くの研究が為されて

います。今回の国際会議では、睡眠時の脳波信号の形状を評価するため提案した解析手法について、発表を行いました。睡眠時の脳波はそれぞれ特有の形状を有しています。睡眠に関する研究では、主に睡眠時に出現している脳波の周波数によって、睡眠の状態が分類されているため、提案手法を用いることで、従来法とは異なる詳細な睡眠状態の解析が可能になると考えています。

研究発表

英語での発表は初めてだったので、練習を重ねました。国際会議の前週には、発表内容について研究室のメンバーにアドバイスを貰い、先生方にご指導いただきました。実際の発表は緊張しましたが、内容を全て伝えることができました。質疑応答では英語での質問を聞き取ることはできましたが、上手く答えることができず、悔しい思いをしました。

他の参加者の発表では、発表スラ



発表の様子

イドやプレゼンテーションの上手な方が多く、非常に参考になりました。

中国・上海について

初めての海外渡航だったことと、現地での日本人に対する風当たりが強いと予想されたことから、大きな不安がありました。国際会議の運営側が移動のためのバスの手配と、発表を行うホテル内で、滞在中の食事を全て済ませることができるよう考慮してくださいました。ホテルはFudan大学の敷地内にあり、他にも病院などが集約されていました。空港からホテルまでの移動に利用した高速道路は片側4車線にも関わらず、渋滞がひどく、運転は私がかれまで経験した中で一番荒々しいも

のでした。ホテル自室内から覗いた車道も昼夜ともに交通量が多く、上海の人口の多さを実感しました。

最終日のFarewell Partyは上海のナイトクルーズで、私が発表したセッションに参加していた先生方と一緒に楽しい時間を過ごすことができました。写真2はクルーザーの上から撮影した上海テレビ塔で、東京スカイツリーが完成するまではアジア第1位の高さを誇っていた有名な塔です。

謝辞

井上勝裕教授にはご多忙の中、懇切丁寧な御指導、御助言を賜りました。謹んで感謝申し上げます。前田誠助教にも貴重な御助言、熱心な御指導を賜ったことを感謝致します。最後になりましたが、今回の国際学会参加に際し、奨学金をご援助していただいた明専会の皆様にご心より厚く御礼申し上げます。



上海テレビ塔